

早稲田大学
系 属

早稲田実業学校初等部

[理事長] 鎌田 薫
[校長] 橋詰 敏長〒185-8506 東京都国分寺市本町 1-2-1 TEL 042-300-2171 <http://www.wasedajg.ed.jp/e/index.html>
[交通] JR中央線・西武線国分寺駅徒歩 10分広いキャンパスで、こころも、
からだも大きく成長します。

校訓・校是

「去華就実」 華やかなものを去り実にく
「三敬主義」 他を敬し、己を敬し、事物を敬す

協同して学び合い、ともに成長する

教育方針 大学までの一貫教育の第一段階であり、人間形成の土台を培う。

教育のめあて (1) 日常的な自然体験をつうじて、たくましさやさしさを育てる。
(2) 頭と手と、からだ全体をはたらかせて、ものをつくりだし、表現する力をのばす。
(3) 自分の頭で考える力、みんなで考える力をきたえる。
(4) 情報社会・国際社会に生きるための基礎となる力をつくる。

初等部から大学までの一貫教育で目標とするのは、「去華就実」「三敬主義」に基づく伝統を踏まえた、豊かな人間性と自主独立の気風にあふれ、広く社会に貢献できる人間の土台をつくることです。

教育は、人間としての全面的な成長・発達をうながし、これを援助していくいとなみです。子どもたちは、集団のなかで、互いに学び合いながら成長していきます。本学では、さまざまな個性の芽をもつ子どもたちが協同して学び合い、ともに成長していく初等教育を創造していきます。

教育環境と学校生活

国分寺キャンパスは、子どもたちがのびのびと成長できるように工夫され、最新の施設・設備が整った理想的な教育環境です。緑に恵まれたキャンパスの広さは54,257㎡。そのうち初等部は14,943㎡あり、普通教室と特別教室には、全て床暖房と空調がほどこされ、快適に学習できるようになっています。また、回廊に囲まれた円形の中庭は、明るくひろびろとした遊び場となっています。

日課は画一的にこまぎれにせず、教科や学習内容によって弾力的に運用します。1・2校時と3・4校時はそれぞれ90分ですが、この時間の使い方は、一律に10分の休憩をはさんで40分の授業を二つおこなうというだけでなく、さまざまな時間設定により効果的な授業を工夫していきます。

自主的な時間の管理 ●チャイムなどの合図は、必要最小限にとどめます。低学年のうちから、自分で時間を管理する習慣を育てます。

週5日制 ●学校週5日制を基本としますが、土曜日に父母が参加する行事をおこなうことがあります。

服装・持ち物 ●制服を着用します。かばん、帽子、体育着、上履きなども学校指定のものがあります。

上級学校に進むには

中等部には、原則として全員が進学できます。ただし、中等部から高等部への進学の際も一定の基準があり、高等部から大学への進学も、本人の希望と人物・成績などを勘案して推薦していますので、無条件ではありません。



沿革

1901年、早稲田実業学校は、大隈重信の教育理念を実現し、特色ある中等教育を推進するために創設された。創立百周年を迎えた2001年、早稲田鶴巻町から国分寺市に移転した。2002年4月には、中等部・高等部とも男女共学とし、新たに初等部を設置した。

2016年度募集要項 [前年度]

募集人員：男女108人／共学

第1学年のみの募集

願書頒布(2017年度入試)：

2016年9月3日～9月30日

出願期間：10月1日・10月2日(郵送受付のみ)

検定料：30,000円

入学試験：

【1次試験】 考査：本人のみ(生活・運動・認知・情緒・創造性等)

(試験日) 11月1日～11月5日のうち1日を指定(発表日) 11月7日

【2次試験】 面接：本人・保護者

(試験日) 11月8日～11月10日のうち1日を指定(発表日) 11月12日

【かかる費用】

入学金：350,000円(入学手続時)

施設設備資金：300,000円(入学手続時)

授業料：708,000円

※その他に、給食費、制服、かばん、体育着、諸会費等の費用がかかる。

◆学校説明会(2017年度入試)

2016年5月29日 10:00～11:30・13:00～14:30 早稲田大学大隈講堂で実施

◆学校見学会(2017年度入試)

2016年9月3日 9:00～12:00

併設中学進学状況

早稲田実業学校中等部
(非公表)

データパック

- ◆児童数 637人／教員数 47人
- ◆16年度応募者数：男女 959人
- ◆合格者数：男子 84人、女子 41人

【併設校】

- 早稲田実業学校中等部・高等部
- 早稲田大学(系属校)